

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-01		
施設名	花の木ひろば館				
所在地	荒川五丁目50番5号(荒川保育園併設)				
部課名	子育て支援部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和45年	45,804			
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和45年10月24日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月1日	職員数	8	7	
構造	R C造	階層	地上4階		
面積	敷地面積	荒川保育園敷地内(1,065.22㎡)㎡			
	延床面積	918.85㎡㎡			
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	保育課、区民施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	5台		○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。					
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	年間利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(日)	42,226	37,548	42,564	40,628	41,200
		294	292	293	293	291
に指定管理 等に係る費用						
備考	年間利用者数は、40,000人前後で推移している。					

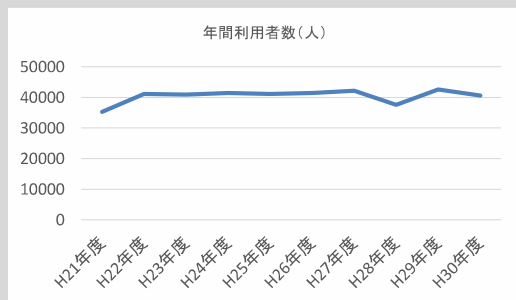
III 財務諸表

		勘定科目			H29年度	H30年度	差額	(単位:千円)		
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	66,744	64,769	▲ 1,975	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	7,668	7,818	150	国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	368	1,131	763	都支出金	490	200	▲ 290	
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	228	305	77	使用料及び手数料	28	20	▲ 8	
		減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	518	220	▲ 298	
		賞与・退職給与引当金繰入額	10,151	5,011	▲ 5,140	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 84,641	▲ 78,814	5,827	
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	85,159	79,034	▲ 6,125	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 84,641	▲ 78,814	5,827	
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 84,641	▲ 78,814	5,827	
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,681	2,683	2	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
		有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	2,681	2,683	2	
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	45,804	45,804	0	固定負債	27,336	29,732	2,396	
		建物減価償却累計額	▲ 45,804	▲ 45,804	0	特別区債	0	0	0	
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	27,336	29,732	2,396	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	30,017	32,415	2,398	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 30,017	▲ 32,415	▲ 2,398	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 30,017	▲ 32,415	▲ 2,398	
資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0			
備考	行政費用の大半は、給与関係費等を除き、事業用消耗品購入費や保守点検に係る委託料等の物件費が占めている。									

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100.0	100.0	100.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	58	58	57.5	
	1㎡当たりコスト(円)	-	90,005	92,680	86,014	
	経費に占める収入の割合(%)	-	2	1	0.3	
	開館1日当たりコスト(円)	-	283,221	290,645	269,741	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	2,203	2,001	1,945	
	人にかかるコストの割合(%)	-	90	90	88.3	
備考	昨年度と比較して、1㎡当たりコスト及び開館1日当たりコストは減少しており、利用者1人当たりコストも減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 -	-	41,800	42,760	41,200
		実績値 42,226	37,548	42,564	40,628	41,200
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	○施設及び設備の老朽化により、改修が必要な箇所がある。将来的にふれあい館への移行を見据えながら、施設の機能・性能の保全に努め、修繕を計画的に推進している状況である。					
課題に対する現時点での考え	○図工室や木工室の整備等、花の木ひろば館の特性を生かし、児童にとって魅力的な事業を実施するなど、児童の来館回数の増加及び定着に繋がる取り組みを検討する必要がある。					
議会、利用者等からの意見						



年間利用者数は、40,000人前後で推移している。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-02		
施設名	熊野前ひろば館				
所在地	東尾久五丁目9番3号(男女平等推進センター併設)				
部課名	子育て支援部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成9年	347,575			
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成9年3月29日		常勤・非常勤	7	その他
供用開始年月日	平成9年4月1日		職員数	7	8
構造	R C造		階層	地上3階、地下2階	
面積	敷地面積		男女平等推進センター敷地内(1,031.56㎡)		
	延床面積		598.65㎡		
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	総務企画課、区民施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。					
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	年間利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(日)	43,259	49,018	50,688	44,817	45,200
		294	292	293	293	291
に指定管理 に係る費用						
備考	年間利用者数は、増加傾向にある。					

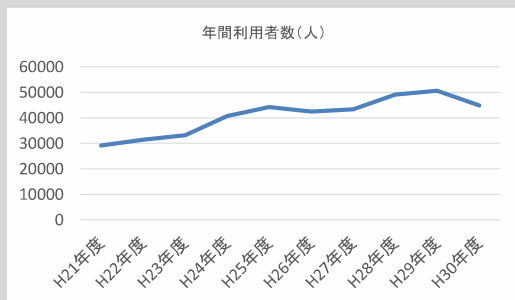
III 財務諸表

		勘定科目			勘定科目			(単位:千円)		
		H29年度	H30年度	差額			H29年度	H30年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	70,082	73,174	3,092	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	4,257	4,423	166		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	558	1,332	774		都支出金	339	150	▲ 189
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	245	220	▲ 25		使用料及び手数料	299	300	1
		減価償却費	9,385	9,385	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	638	450	▲ 188
		賞与・退職給与引当金繰入額	10,658	5,662	▲ 4,996		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 94,547	▲ 93,746	801
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	95,185	94,196	▲ 989		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 94,547	▲ 93,746	801
		特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 94,547	▲ 93,746	801
貸借対照表	固定資産	勘定科目			勘定科目			勘定科目		
		H29年度			H30年度			H29年度		
		H30年度			差額			H30年度		
		差額			流動負債			差額		
		収入未済	0	0	0	還付未済金	2,815	3,031	216	
		不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,815	3,031	216	
		有形固定資産	141,115	141,013	▲ 102	その他の流動負債	0	0	0	
		土地	0	0	0	固定負債	28,703	33,591	4,888	
		建物	347,575	356,857	9,282	特別区債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 206,459	▲ 215,844	▲ 9,385	退職給与引当金	28,703	33,591	4,888	
		工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	31,518	36,622	5,104			
無形固定資産	0	0	0	正味財産	109,597	104,391	▲ 5,206			
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	109,597	104,391	▲ 5,206			
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	141,115	141,013	▲ 102			
資産の部合計	141,115	141,013	▲ 102							
備考	行政費用の大半は、給与関係費等を除き、施設に係る減価償却費と事業用消耗品購入費や保守点検に係る委託料等の物件費が占めている。									

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	57	59	60.5	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	26	26	26.3	
	1㎡当たりコスト(円)	-	156,492	158,999	157,347	
	経費に占める収入の割合(%)	-	0	1	0.5	
	開館1日当たりコスト(円)	-	320,835	324,863	321,488	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	1,911	1,878	2,102	
	人にかかるコストの割合(%)	-	86	85	83.7	
備考	昨年度と比較して、1㎡当たりコスト及び開館1日当たりコストは増加しており、年間利用者数の減少により、利用者1人当たりコストも増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 -	-	49,500	53,527	45,200
	実績値	43,259	49,018	50,688	44,817	45,200
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	○館内で実施している熊野前学童クラブについて、近年利用児童が増えており、今後も増加が予測される。 ○男女平等推進センターと一体になって施設の機能・性能の保全に努めながら、修繕を計画的に推進している。					
課題に対する現時点での考え	○熊野前学童クラブの需要増については、併設する施設の会議室の一時利用により対応した。今後の供給体制の確保を図るため、令和2年4月に(仮称)尾久小学童クラブを開設する。					
議会、利用者等からの意見						



年間利用者数は、増加傾向にある。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-03		
施設名	西日暮里二丁目ひろは館				
所在地	西日暮里二丁目32番25号(ひぐらし小学校敷地内)				
部課名	子育て支援部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成28年	289,008			
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成28年4月13日		常勤・非常勤	9	その他
供用開始年月日	平成28年4月18日		職員数	9	9
構造	鉄骨造		階層	地上3階	
面積	敷地面積			562.75	m ²
	延床面積			833.74	m ²
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	区民施設課、教育施設課				
根拠法令等	荒川区区民ひろは館条例・同施行規則				
設置条例	荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブ及び放課後子ども教室を運営している。					
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	年間利用者数(人) (28年度に移転)	平成27年度 38,279	平成28年度 55,735	平成29年度 56,303	平成30年度 60,694	令和元年度(見込み) 61,200
	開館日数(日)	294	293	293	293	291
に指定管理 等に係る費用						
備考	毎年度、年間利用者数は増加している。					

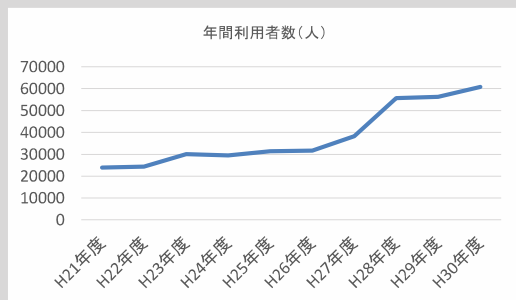
III 財務諸表

		(単位:千円)							
行政コスト計算書		勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	費用	給与関係費	86,035	81,213	▲ 4,822	地方税等	0	0	0
		物件費	87,094	5,268	▲ 81,826	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	都支支出金	150	150	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	319	233	▲ 86	使用料及び手数料	47	72	25
		減価償却費	9,591	9,591	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	197	222	25
		賞与・退職給与引当金繰入額	13,084	6,284	▲ 6,800	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 195,926	▲ 102,367	93,559
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	196,123	102,589	▲ 93,534	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 195,926	▲ 102,367	93,559
特別費用(g)	112,139	0	▲ 112,139	特別収入(f)	290,628	0	▲ 290,628		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	178,489	0	▲ 178,489	当期収支差額(e)+(h)	▲ 17,437	▲ 102,367	▲ 84,930		
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	101,411	3,364	▲ 98,047
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	3,455	3,364	▲ 91
		土地	0	0	0	その他の流動負債	97,956	0	▲ 97,956
		建物	0	0	0	固定負債	35,237	37,281	2,044
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	35,237	37,281	2,044
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	136,648	40,645	▲ 96,003
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	144,389	230,802	86,413		
その他の固定資産	281,037	271,447	▲ 9,590	正味財産の部合計	144,389	230,802	86,413		
資産の部合計	281,037	271,447	▲ 9,590	負債及び正味財産の部合計	281,037	271,447	▲ 9,590		
備考	行政費用の大半は、給与関係費等を除き、施設に係る減価償却費と事業用消耗品購入費や保守点検に係る委託料等の物件費が占めている。30年度は、リース資産となったため、物件費が約8,200千円減少している。								

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100	-	-	-
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	-	228,026	235,233	123,047	-
	経費に占める収入の割合(%)	-	0	1.0	2.2	-
	開館1日当たりコスト(円)	-	64,886	66,936	35,013	-
	利用者1人当たりコスト(円)	-	3,411	3,483	1,690	-
	人にかかるコストの割合(%)	-	47	51	85.3	-
備考	昨年度と比較して、行政費用が減少したため、1㎡当たりコスト及び開館1日当たりコストも減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	年間利用者数	目標値	実績値	56,000	56,866	61,200
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	<p>○平成28年3月までは、ひぐらし小学校内でひろば館を運営していたが、同校の児童数の増加に伴い、平成28年4月に学校敷地内にひろば館を新設(移設)し、ひろば館事業、学童クラブ事業及び放課後子ども教室事業を実施している。</p> <p>○地域の学齢児童の増加に伴い、館内で実施する西日暮里二丁目学童クラブの利用希望者も定員を超える状況であり、今後も増加が続く見込みである。</p>					
課題に対する現時点での考え	○西日暮里二丁目学童クラブの需要増については、平成29年4月に日暮里学童クラブを新設し、対応した。今後、ひぐらし小学校の児童がさらに増えていくことが想定されているため、学校等と調整し、スペースの有効利用について検討・調整していく。					
議会、利用者等からの意見						



平成28年4月の移設に伴い、年間利用者数が増加している。